

広報すみれ

No. 26
June 2016



特集1 山本 利彦・藤枝すみれ会理事長挨拶

特集2 第1回理事会・評議員会 事業報告・決算報告

特集3 平成28年度も常に笑顔でスタート！事業所の様子

特集4 1人ひとりのスキル、能力向上全体職員研修会、皆様に感謝

笑顔

理事長 山本利彦

一年で風が一番長い夏至、今年も暑い夏を迎えようとしています。皆様には体調には充分気を配り、この暑い夏を乗り切っていただきたいと思えます。特に今年は昨年以上の暑さで、真夏日や猛暑日が続くと予想されています。くれぐれも熱中症には気を付け、室内に居ても水分や塩分の補給をこまめにしていただきたいと思えます。



山本利彦・藤枝すみれ会理事長

さて、すみれ会ですが、新年度に入り既に三か月が経過としていきます。新しく配属された職員の方々も少しずつ環境に慣れ、利用者の皆さんと、楽しい毎日を過ごしているようでホッとしている所です。

先日は理事・評議員会があり、二十七年度の事業報告・決算報告、二十八年度の事業計画等が審議され承認されました。また、委員の方々から今回も活発な発言がされ、貴重な意見や提案もなされ、有意義な会となりました。委員の方々には心からお礼申し上げます。誠に有難うございました。その中で、ヒヤリハットについて、事務局から年間の件数や内容について報告がありました。毎日の活動では、ごく当たり前に色々な事が起こっています。日常の出来事でもヒヤッとした事や、ハットとした事がそれなりに有るはずです。どんなに小さな事でも、とりまとめ見える化につなげていく事が大切です。

今年も七月一日から全国一斉に安全週間が始まります。スローガンは「見えますか？

あなたのみわりの見えない危険みんで見つける安全管理」です。事故の原因を調べてみると、そのほとんどがヒューマンエラーによると云われています。ヒヤッとした事、ハットとした事は毎日のように起こっているのです。このヒヤリ事例を参考に、ヒューマンエラーを無くす事が、事故防止に最も効果的です。どんなに小さな事でも見逃さず対処する事で、事故を未然に防ぐ事になります。また、委員会の中でも話をしましたが、何事も「自分がその場にいたら、どう考え、どう動くのか」と常に臨場感を持った思考をする事が大切になってきます。他人事と思わずに、自分の事・当事者として考え、対処することが大事なことです。昨年も「係る人の全てが、幸せを感じて仕事をしたい、それが私の希望・願いです」との大手企業の

社長さんの話しを紹介しました。今、新ためてその思いを強くしています。利用者の皆さんと職員との明るく楽しそうなやり取りの声、何とも云えず心が弾みます。また、利用者の皆さんが大きな声で挨拶をしてくれ、その満面の笑顔に出会うとこちらも幸せな気分になります。

私達を取り巻く大勢の方々や喜びや、幸せを分かち合う事が出来、皆さんが、ちょっと寄り道をして事業所に顔を出してくれる、そんな温かい事業所であつたらどんなに幸せなんだろうかと、皆でどんなに小さな事でも見逃さず、素晴らしい事業所にしていきたい、と願っているのは私だけではないと思えます。小さな小さな事でも、お互いのモチベーションに変えて、常に前向きな素敵なすみれ会、素敵な笑顔に触れることが出来る毎日を楽しみにしています。皆さんで力を合わせ、新しい課題に取り組み、全員で一歩ずつ前進しましょう。利用者の皆さん、素敵な笑顔を忘れないように！

平成28年度 第1回社会福祉法人 藤枝すみれ会 理事会評議員会

日時 平成28年5月27日（金）
午後6時30分より
場所 西部すみれの家にて開催



社会福祉法人藤枝すみれ会 会合の場



平成二十八年度 第一回社会福祉法人藤枝すみれ会理事会、評議員会が西部すみれの家にて行われました。理事会では、第一号議案から第二号議案までの議案について意思決定を求めるものであり、評議員会では第一号議案から第二号議案までの議案事項について意見聴取するものとし、報告事項は時機に応じた事象の報告を行うもので各々活発な議論の上、可決、承認されました。

Ⅱ 議事Ⅱ

第一号議案

平成二十七年度社会福祉法人藤枝すみれ会事業報告について

議事事項

平成二十七年度の事業執行について萩原総括事業長、原通所部門長より説明がされました。

第二号議案

平成二十七年度社会福祉法人藤枝すみれ会障害福祉サービスに係る決算報告及び平成二十七年度の監査報告について

議事事項

平成二十七年度の事業執行に伴う社会福祉事業における収支決算について鈴木会計責任者より説明がされ、平成二十七年度の監査報告について監事より報告がありました。

Ⅱ 報告事項Ⅱ

社会福祉法人藤枝すみれ会南部すみれの家施設整備について

・南部すみれの家の建物の将来を見据えた施設整備について、現時点での状況を萩原総括事業長より報告いたしました。

以上

Ⅱ 平成二十七年度 事業報告Ⅱ

東部すみれの家（生活介護）

生活介護単独事業所としての二年目を迎え、支援の充実と活動内容の確立を課題にして取り組んできました。

・一人ひとりの表現力を生かす創作活動を通してできた作品の展示会や製品化に積極的に取り組み、利用者の頑張りや輝きを地域に発信するよう努めてきました。

・「ふじのくに型サービス」を意識して中学、高校、大学生、高齢者、地域のボランティアの方々など様々な方々が集う交流活動を引き続き推進しました。

・送迎サービスは、二台の車を使って稼働率を高め、送迎加算（Ⅱ）十三単位を受けるようになりました。

西部すみれの家（就労移行・就労継続B）

新設の事業所としての安

定期的な運営と地域のコミュニティへの参加を課題にして取り組んできました。

・就労移行では、訓練プログラムを見直し、立ち仕事に合わせた作業台の設置や掃除マニユアルに基づく掃除訓練やごみ回収訓練の導入などにより働く力の育成に努めました。また、計画的な職場実習の実施を通して、二年目の利用者二人が全員就職することができました。

・就労継続Bでは、利用者が新しい環境に慣れるにしたがって、下請作業の取引業者が増えるなど安定化し、目標工賃を達成することができました。

・焼き菓子製造も地域の行事への積極的な参加や販路の拡大を通して、西部すみれの焼き菓子として定着してきています。

南部すみれの家(生活介護・就労継続B)

新設の西部すみれの家に就

労移行サービスと八人の利用者が移ったため、南部すみれの全体行事や自主作業の園芸の進め方、下請作業の受入量の見直しなどが必要になり、新生南部すみれの家の活動内容の検討を課題にして取り組んできました。

・介護では、多様な実態の利用者一人ひとりのニーズに応じた活動を心掛けるなかで、調理、ミシン、買い物などの個別の活動が充実していきま

高かった日中一時支援(施設延長利用)を十二月から始めました。

・就労Bでは、一人ひとりの特性や得意な力を生かした作業分担を進める中で、自信を持つて取り組む姿が育ち、仲間同士協力する意識も高まっています。

北部すみれの家(生活介護・就労継続B)

新設の西部すみれの家に焼き菓子製造と六人の利用者が移

ったため、新しい自主製品の開発や下請作業の受入量の見直しなどが必要となり、新生北部すみれの家の活動内容の検討を課題にして取り組んで

きました。

・介護では、年齢幅の広い利用者さんの実態を踏まえ、グループ編成を工夫しながら活動を展開しました。新しく取り入れたリトミックやスポーツ教室には、利用者が喜んで参加しました。また、保護者からの要望が高まり、二月から週一回帰りのみの送迎サービスを始めました

・就労Bでは、一人ひとりの特性や得意な力を生かすほかに、新しい作業にも挑戦して

ヒヤリハット報告・事故報告・苦情申出書報告

平成二十七年度下半期のヒ

ヤリハット報告、事故報告、苦情申出報告書の件数と一部内容を報告します。

・ヒヤリハット数二十八件(年間四十七件)

・事故報告九件(年間二十三件)

・苦情申出書報告二件(年間三件)

「ヒヤリハットの内容」

・利用者間のトラブル

・不安定時における利用者の行動

・職員間における連絡不足

・外出時のトイレ利用時の介助

・戸締りのし忘れ 等

「事故報告」

・深夜における漏水

・物品や金銭を隠すトラブル

・不安定時の危害行為

・駐車場内の職員運転ミス 等

「苦情申出書の内容」

・職員への対応や態度に対する苦情 等

平成27年度 決算報告

貸借対照表

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	98,507,915	流動負債	13,645,283
（内たな勘資産）	233,007	固定負債	12,113,000
固定資産	210,676,922	純資産	283,426,554
（内設備整備等積立金）	18,000,500	次期繰越活動収支差額	58,649,162
合計	309,184,837	合計	309,184,837

事業活動収支計算書

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
サービス活動費用	170,041,854	サービス活動収益	160,947,088
サービス活動外費用	146,901	サービス活動外収益	369,754
特別費用	12,200,000	特別収益	0
合計	182,388,755	合計	161,316,842
当期活動増減差額		▲21,071,913	
前期繰越活動増減差額		87,721,075	
当期末繰越活動増減差額		66,649,162	
施設整備等積立金積立額		8,000,000	
次期繰越活動増減差額		58,649,162	

資金収支計算書

支出の部		収入の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動支出	151,248,308	事業活動収入	161,277,982
施設整備等支出	3,302,160	施設整備等収入	0
その他の活動支出	11,486,000	その他の活動収入	0
合計	166,036,463	合計	161,277,982
当期資金収支差額		▲4,758,481	
前期期末支払資金残高		100,771,042	
当期末支払資金残高		96,012,561	

監査報告書



内容の分析及び再発防止策の検討を徹底するとともに、利用者の適切・安全な福祉サービスの提供に向けて、リスクマネジメントに関する取り組みを推進していきます。今後とも何かありましたら、各事業所のサービス管理責任者ならびに施設長にご相談下さい。

監査結果

監査日（H二一八・五・十三）

種別 決算監査

実施者 田中徳治・三ヶ尻俊

（一）業務監査について行政監査の指摘事項と改善状況、定款の変更と対応状況、理事・評議員の業務執行状況、資産登記の状況、事業計画・事業報告の内容および各種諸規定の整備状況等につき関係

書類、各種報告書、議事録、登記簿謄本、財産目録等を精査した結果、関係法令・関係

通知に等に従い適切に示されていた。

（二）会計監査について予算の編成及び執行状況、事業区分・拠点区分、サービス区分と帳簿の整備状況、預金の残高確認と実査、財務諸表・付属明細書の妥当性等につき予

算書議事録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書、各種明細書、総勘定元帳、

預金通帳等関係書類等を精査した結果、関係法令・関係通知等に従い適切に示されていた。

以上によりこのたびの決算監査結果については適正であると認められました。

素敵な笑顔に触れることが出来る毎日 係る人の全てが幸せを感じて仕事をしてほしい
新年度がスタートして三ヶ月 新しい課題に取り組み、全員で一步ずつ前進

・新年度笑顔でスタート！東部すみれの家

平成二十八年度、利用者数 二十二名でスタートしました。東部すみれの家の自慢、「おはようございます」「こんにちは」「待ってたよ」などたくさん明るい挨拶でお客様と笑顔で接しています。心身の健康の保持増進をめざし、心身を整えるためのサービス内容の充実を図り、一人ひとりの自己表現を大切にしたい創作・生産活動を推進すると共に作品や製品を紹介できる機会の拡大に努めます。安全で安心な環境の確保にも努めていきます。

今年度も東部すみれの家には素敵な笑顔がたくさん溢れています。



東部すみれの家 素敵な笑顔



自己表現を大切にボランティアさんと「アノ交流

・幸せを感じて仕事に取り組む西部すみれの家

平成二十八年度、利用者数 二十名でスタートしました。西部すみれの家の自慢、焼菓子はもちろん、就職を想定した環境作りができているところです。新しいプログラムを取り入れ、一般就労を実現できる人材を育成し、就職者の職場定着を図るためアフターケアを計画的に進め信頼度を高めています。一人ひとりのできる力を引き出し、正確で確実な下請作業の仕事ぶりや安全・安心な焼き菓子作りにつなげます。新商品開発や販路拡大、実習生の積極的な受入など地域の認知度を高めます。

今年度も西部すみれの家には仕事の中に楽しさを見つけ、意欲的に取り組む姿が溢れています。



仕事の中にも笑顔！自主製品焼き菓子作の



仕事はもちろん信頼関係 就職目指して頑張っています

・何気ない話で見せる笑顔が素敵 南部すみれの家

平成二十八年度、三十八名でスタートしました。南部すみれの家の自慢、園芸を通して一人ひとりを重んじ、親身になって話を聞きあえる一体感です。車椅子使用を含む一人ひとりの健康状態や身体機能に配慮しながら安全、安心で快適なサービスマネジメントに努めます。一人ひとりの個性を生かしながら、生産活動や創作的・文化的活動などの日中活動を展開し、日中一

時支援事業を円滑に進めます。一人ひとりの特性や得意な力を引き出し、生かし、適材適所の作業分担で生産性の向上を図ります。新規委託作業の開拓や園芸への関わり方の見直しなど行い、やりがいを持って取り組む生産活動を推進します。

今年度もお互いを許しあうからこそできる話で笑顔のキヤッチボールをし、明るい雰囲気が出れています。



仕事の合間に職員と話しながらの笑顔



育てたお花を自信をもって納品、アフターケア

・一人ひとりを尊重し合う家族のような北部すみれの家

平成二十八年度、三十一名でスタートしました。北部すみれの家の自慢、互いを尊重し、家族のように思いやることころです。健康状態や身体機能の維持向上をめざし、運動することを億劫がらない生活態度の育成を図り、一人ひとりのニーズに応じて、生産活動と創作的・文化的活動のバランスを考慮しながらやりがいや生きがいを感じられるような日中活動の推進、送迎サ

ービスも施行していきます。一人ひとりの特性やできる力を生かした適材適所の作業分担で生産性の向上を図っていきますながら、新しい作業にも挑戦してできることを広げていきます。もちろん自主製品ネットワークやマスクの改良を図りながら販売促進をしていきます。

今年度も互いを尊重するからこそできる適材適所で頑張る姿が出れています。



広報すみれを見ながら一緒に笑顔



朝の会で今日一日のスケジュール確認

職員一人ひとりのスキル・能力を高める全体研修会

藤枝すみれ会では、今年度も研修計画を立て、行っています。最近では、藤枝警察署の方をお願いをして交通安全研修会を行い、六月には外部講師による倫理綱領や法律による内容など事業も含め全体研修を行いました。もちろん各事業所、各サービスの研修会も同時進行で行っています。肝心なのは研修によっていかに「気付き」を得るかです。学んだ事自体ではなく、これまでの姿勢を改め、今後の自分と法人（利用者）のために継続的に学習していかないといけないという自覚をもたなければなりません。すみれ会を良くしていく努力をこれからも継続していきます。



職員交通安全研修会



外部講師による職員全体研修会

たくさんの方々を支えています

今年度もたくさんの方々を支えられています。印刷会社様からたくさんの方々の封筒をいただき、民生委員様よりご寄附をいただきました。他の方々からも新しい下請のお仕事をご紹介いただいたなど本当に皆様を支えられ、そのお気持ちを利用者の笑顔にもつながっています。ちょっと寄り道をして事業所に顔を出してくれる、そんな温かい事業所を目指し、山本理事長を筆頭に職員一同、日々精進していきますので、これからもご理解ご協力の程、よろしくお願致します。



たくさんの方々の封筒をいただきました



民生委員様より寄附

編集後記

「お詫びと訂正」

前号二十五号 三ページ
平成二十八年度第七回社会福祉法人藤枝すみれ会理事会評議員会と明記されていましたが、平成二十七年の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

「大好きな事業所」

広報すみれ二十六号いかがでしたでしょうか。平成二十八年度も三ヶ月が過ぎ、各事業所も笑顔でスタートしています。素晴らしい事業所にしていきたい：そんな願いや気持ちを感じていただければ幸いです。私は利用者がいつも笑顔でいれるすみれ会が大好きです。

広報担当 K・S